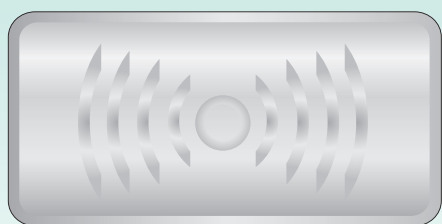


アーム式・パルス発振

家庭用超短波治療器

バイオレイヤー P

BIOLAYER P



管理医療機器

家庭用超短波治療器 (JMDNコード: 70988000)

医療機器承認番号: 21600BZZ00205A02

添付文書

取扱説明書

目次

- 「バイオレイヤーP」の特長 …… P.2
- 安全上のご注意
 - ・ 正しく安全にお使いいただくために… P.3
- 使用上のご注意 …… P.5
- はじめてお使いになる前に
 - ・ 本体標準付属品と仕様 …… P.10
 - ・ 各部名称 …… P.11
- 操作方法について
 - ・ 治療の操作手順 …… P.12
 - ・ 基本的な使用例 …… P.14
 - ・ 照射アンテナと自在アームの動きについて… P.16
- シールドカーテンの使い方 …… P.18

この度は、「バイオレイヤーP」をご購入いただきありがとうございました。

- ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- また、いつでもお読みいただけるよう、本体と取扱説明書、保証書を一緒に大切に保管してください。

「バイオレイヤーP」の特長

1 極超短波のエネルギーを50W（ピーク値）でパルス式（断続型）に出力することで、体内深部を効果的に温めます。

※出力が「強」のときは連続式に出力します。

2 自在アーム＋ワイドアンテナで簡単・手軽に広範囲の部位を着衣の上から治療することが可能です。

※導電性の衣類を着用しての使用はできません。（P.6参照）

3 超短波治療の使用目的又は効果は **温熱効果**

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛、筋肉痛の痛みの緩解
- 胃腸の働きを活発にする
- 筋肉の疲れをとる

使用目的：一般家庭で使用するこ

4 操作はいたってカンタン、電源を入れ出力調節スイッチを押すだけで治療スタート。

5 キャスターにより、簡単に移動ができるので、好きな場所でくつろぎながら使用できます。

安全上のご注意 ~正しく安全にお使いいただくために~

- ◆取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。治療器を人に貸したり、差し上げるときには必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよく読み、正しくお使いください。
- ◆あなたや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表していますので、内容を理解してから本文をお読みください。

危険

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。

警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示します。



は、「危険・警告・注意」を促す内容です。

※表示例は「感電注意」です。→



は、してはいけない「禁止」の内容です。

※表示例は「分解禁止」です。→



は、行為を指示する「強制」の内容です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。→



この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意 ~正しく安全にお使いいただくために~

次のような場合は使用しないでください

⚠ 危険

下記のような医用電気機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがあります。使用しないでください。

- 1) ペースメーカー等の体内植込型医用電気機器
- 2) 人工心肺等の生命維持用医用電気機器
- 3) 心電計等の装着型医用電気機器

⚠ 警告

次のような場合は、使用しないでください。

- 1) 病名などがはっきりしない場合、医師に相談してください。
- 2) 他の機器とは同時に使用しないでください。過度な刺激を受けたり、体調を損なったり、故障の原因となることがあります。使用する場合は時間をずらして使用してください。
- 3) 電位治療器のマットの上では、絶対に使用しないでください。
- 4) 補聴器は外してください。

⚠ 警告

次の人は必ず医師と相談してご使用ください。

- | | |
|---------------------|---------------------------------------|
| 1) 急性（疼痛性）疾患の人 | 9) 知覚障害のある人 |
| 2) 悪性腫瘍のある人 | （糖尿病患者などを含む、温熱に対して感覚の鈍い人） |
| 3) 妊産婦 | 10) 低温やけどをしたことのある人 |
| 4) 心臓に障害のある人 | 11) かなり高齢な人及び認知症、6歳以下の乳幼児など意思表示ができない人 |
| 5) 熱の高い人（38℃以上） | 12) 結核患者・血友病患者 |
| 6) 血栓症の人 | 13) その他医師の治療を受けている人や体に異常を感じている人 |
| 7) 血管障害の恐れのある血圧異常の人 | |
| 8) 安静を必要とする人 | |

次のような部位への使用は避けてください。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ○出血部位および月経時の腹部 | ○皮膚知覚が低下している部位 |
| ○体内に金属・プラスチックなどを埋め込んである部位 | ○成長期の骨端 |
| ○頭部・目・男性生殖器 | ○阻血組織など著しく血行の悪い部位 |
| ○感染症や創傷など、皮膚に異常のある部位 | ○中程度以上の浮腫のある部位 |

次の人は使用しないでください。

- お酒を飲んだ人 ○睡眠薬を飲んだ人

次の人は介護者のもとで使用してください。

- マヒのある人 ○寝たきりの人 ○12才以下の子供

使用上のご注意

身体に合った治療をしてください



体調の悪化やけがなど事故の原因となります



治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないこと。



身体に異常を感じたり、現れたときは、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。

症状が悪くなる可能性があります。



治療効果や治療部位、症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。不明な点はお求めの販売店またはお客様相談室（裏表紙）へお問い合わせください。



数ヶ月以上、本器を使用しても症状の改善や効果が現れない場合は、使用を一時中止し、医師または専門家に相談すること。



治療開始当初は治療時間を約5分、出力は「弱」にして、徐々に身体を慣らしていくこと。



定められた治療時間を超えないこと。また、連続して15分～30分使用した場合、5分間以上休むこと。

過照射により火傷の原因となる恐れがあります。



ひじなどの骨が非常に突起した部位に使用する場合は局所的な熱上昇を起こさないように注意すること。



照射アンテナを治療部位にあてるときは、身体になるべく近づけてください。身体から離すとエネルギーが周囲にもれ治療効果が少なくなります。また、他の電気製品に影響を及ぼす原因となります。



皮膚が汗などで濡れている場合は、汗を拭き取ってから治療すること。治療中に汗をかいた場合は、汗を拭き取る。また、湿布や塗膏剤を塗った部位には照射しないこと。

皮膚が濡れたままで治療をすると火傷の原因となります。



おむつを使用している部位へは照射しないでください。

火傷などの危険があります。



濡れた包帯や金属物を含む絆創膏などの上から照射しないこと。温度が異常に上昇することがあります。

火傷の原因となります。



目などの顔面へは照射しないこと。また、照射アンテナは見つめないこと。



首、胸など身体の上部に照射する場合は、必ず付属の防護メガネをかけること。

※防護メガネは天然ゴムを使用しています。天然ゴムはかゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し医師に相談してください。



温度が強すぎると感じた場合は、がまんせずに出力を下げること。

火傷の原因となります。

使用上のご注意

使用場所や状況について



危険

火傷や発火などの事故や故障の原因となります



電位治療器の電床マットの上では電床のコードが本体に差し込まれていなくても、絶対に使用しないこと。

電床マットが焦げて火傷、火災等の恐れがあります。



次のものを身に付けたまま使用しないでください。また、不明の場合は機器の販売店または製造販売元へお問い合わせください。

- 使い捨てカイロ
- 金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など）
- 導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、

サンダーロン® 繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン®繊維を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）

また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。

- 特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
- 磁気入り布団
- 墨入り（炭素材など）の畳
- ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳

火傷または熱傷などの事故の原因となります。

使用場所や状況について



警告

感電、火傷などの事故や物的損害、故障の原因となります



風呂場、台所、車の中、ストーブなど火気の近く、直射日光の当たる場所など、温度や湿度の高い場所やほこりの多い場所では使用しないこと。

機器の寿命を縮めたり、熱さによる本体変形などで事故の原因となります。



キャッシュカードやクレジットカード、携帯電話、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気を帯びたものを近づけたり、身につけた状態で本機器を使用しないでください。

記録内容が消去される場合があります。



本体を寒い場所から温かい場所に、いきなり移動して使用しないこと。

本体内部で結露現象が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用するときは2時間以上経過してから電源を入れてください。



他の電気製品とはできるだけ距離をあけて使用すること。携帯電話、電子手帳等を身につけたまま使用しないこと。また、使用中の照射アンテナを直接本体や他の電気製品（テレビやラジオ、電話、ステレオなど）に向けないこと。

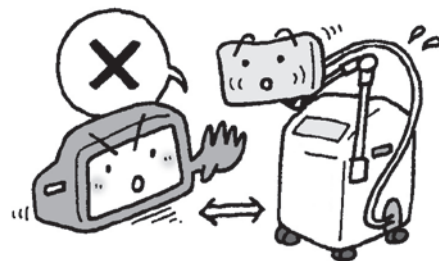
電気製品が誤作動や故障をしたり、電気製品の影響で故障する恐れがあります。



寒い時期や寒い場所で使用する際は、電源を入れて1~2分経ってから使用してください。



本体は水平な場所へ置くこと。傾斜面など不安定な場所での設置、移動は転倒等に注意すること。



照射アンテナをブレーカーに向けて使用しないこと。また、ブレーカーの近くで使用しないこと。

それでもブレーカーが落ちるようでしたら販売店までご連絡ください。

⚠ 雷や地震、停電時は使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜くこと。

復帰時に事故や故障の恐れがあります。

⊘ 本体背面の通気孔をふさぐような使い方（布団をかぶせたり、壁に寄せるなど）はしないこと。壁から10cm以上あけてください。

本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

⊘ 使用中は他の人や金属類に触れないこと。

ピリッとしたり、火傷の原因となります。

⚠ 高精度な電気機器の近くでは使用しないでください。機器の例：ペースメーカー、補聴器、その他医療用電気機器、携帯電話、火災報知器

電気機器に影響を与える場合があります。

⊘ 電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤作動や故障の原因となります。

⚠ アースを正しく接続してください。

電源及び電源コードについて



警告

感電、火傷などの事故や物的損害、故障の原因となります

⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないこと。

感電の原因となります。



⊘ コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないこと。

タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。また過電流でブレーカーが落ちる事があります。単独のコンセントでのご使用をおすすめします。

⚠ 電源プラグは容易に外れないよう、コンセントに確実に差し込むこと。また、プラグの破損や差し込みがゆるい場合は使用しないこと。

差し込みが不完全だと感電、ショート、発火の原因となります。

⚠ 電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

⊘ コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。

コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。

⊘ 交流100V以外では、使用しないこと。

規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。

⊘ 電源プラグにゴミ、ほこりなどを付着させて使用しないこと。

発火、ショートの原因となります。



⊘ 電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないこと。また、本体背面にあるコード巻にコードを収納する際にも強く引っ張ったりしないこと。

寿命を縮め、火災、感電などの原因となります。

本体の扱いについて



危険

発火、感電などの事故や故障の原因となります

⊘ 勝手に修理したり、改造したりしないこと。

故障かなと思ったら使用を中止し、お買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

⊘ 本体は絶対に開けないこと。

内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

⊘ 本体を高い場所から落としたり、強い衝撃を与えないこと。

誤って落とした場合は必ず点検を受けてください。そのときに異常がなくても内部の損傷が進み、後に事故や故障の原因となることがあります。



使用上のご注意

本体の扱いについて



警告

発火、感電などの事故や物的損害、故障の原因となります

- 本体の移動はキャスターを利用し、自在アームや照射アンテナ、ケーブルを持って移動しないこと。また、持ち上げる場合は、取っ手の部分を持つこと。重量が約19.5kgあるため、持ち運びには十分注意すること。

一人で持ち運ぶ場合は①本体背面より両手で取っ手に手をかけ、②本体を身体側に引き寄せて、③垂直に持ち上げるのがコツです。できれば2人以上で運ぶか、その行為に支障をきたさない人に依頼をしてください。



- 間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

- 本体の上に重い物や飲み物などを置かないこと。

内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。



- 治療前やしばらく使用しなかった場合には、使用前に本器が正しく作動するか確認すること。また、日々の使用点検にて、スイッチ、アームなどが正しく作動するか確認すること。

- 定められた手順で操作すること。操作を誤ると事故や故障の原因となります。

- 補助を必要とする人（子供を含む）には使用させないでください（ただし、保護者、医師または専門家の監督下で使用する場合は除く）。子供を機器本体及び導子の上で遊ばせない及び上に乗らせないでください。

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。また、濡れた手でプラグの抜き差しや本体の操作をしないこと。

感電など事故の原因となります。



- 他の治療器の部品や付属品などを流用しないこと。規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。

- 変色の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないこと。

水またはぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。

- 使用を中断する場合や使用後は必ず電源を切るなど使用前の状態に戻すこと。

- 次回の使用に支障がないように清浄にし、整理保管すること。また、次のような場所に保管しないこと。

- 長時間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

- ◆お子様の手の届く所
倒してけがや破損の恐れがあります。
- ◆温度や湿度の高い所
寿命を縮め、火災や感電の原因となります。

- 本体（照射アンテナやケーブルも含む）に故障や異常を感じた場合（異常音がする、熱い、煙を発生する、照射アンテナが点滅しないなど）は、直ちに使用を中止し、電源を切ること。

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本体や付属品は定期的に点検を行い、本器の性能維持や劣化、磨耗などの点検を行うこと。また、消耗部品は定期的に交換し、使用中の危険防止を図ること。

事前のチェックや点検等で不具合（付属品の絶縁：コード被覆のキズ、ひび割れ、断線のしかり、コネクタの接続不良など）が見られた場合は必ず取扱店または、製造販売元にご連絡ください。

照射アンテナについて



警告

発火、感電などの事故や故障の原因となります



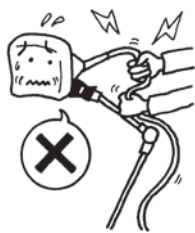
照射アンテナやケーブルは消耗品です。長期間または過度の使用は照射アンテナやケーブルが劣化し、焼損する原因となります。また、使用環境や使用状況で耐用年数が短くなることがあります。性能を維持し、より安全にお使いいただくために、定期点検を行い、劣化が認められたときは交換してください。



照射アンテナの取扱いや使用には、次の点に注意し、正しく使用すること。
火災や感電、発火、断線などの事故や故障の原因となります。



アンテナをアームから外さないこと



ケーブルを引っ張ったり、ねじらないこと



ケーブルをアームに巻き付けないこと



ケーブルをアームに結ばないこと

◆照射アンテナのケーブルを傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、アームへ結んだり、押し付けたり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないこと。また、アンテナをアームから外さないこと。

◆照射アンテナやケーブルが傷ついたり、破損している場合は使用しないこと。その場合は、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

◆照射アンテナやケーブルには金属類を近づけないこと。また、他の電気製品のコードと交わらないようにすること。他の電気製品に異常を起こす恐れなどがあります。

定期点検を受けましょう

本体や付属品を正しく安全に使用するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。
※使用状態により異なりますので、販売店へお問い合わせください。

日頃のお手入れとして

通気孔につくほこりを定期的に掃除機などで吸い取ってください。

その他



警告

機器及び付属品を廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。

はじめてお使いになる前に

本体標準付属品と仕様

本器を初めてご使用になる前に、以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

本 体



標準付属品

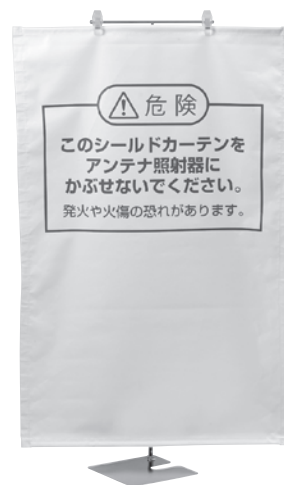
防護メガネ 1個



警告

超短波の照射から目を保護するため、身体上部を治療するときは必ずおかけください。

シールドカーテン



カーテンスタンド

警告

アンテナと電気製品との間に必ずシールドカーテンを置いて使用してください。

アースコード 1個



本体裏面のアース端子に接続し、確実にアースしてください。

主な仕様

電 源・・・ AC100V
周 波 数・・・ 50/60Hz
消 費 電 力・・・ 160Wh
発振周波数・・・ 2450MHz
定 格 出 力・・・ 50W
タイマー・・・ 0~30分
本 体 寸 法・・・ 280(幅)×519(高)×370(奥行)mm
重 量・・・ 約19.5kg

各部名称

照射面

治療部位にあてて治療します。照射面は身体になるべく近づけてお使いください。

ワイドアンテナ

操作パネル

自在アーム

コードフック

キャスター

移動に便利です。前輪のキャスター（2個）はストッパー付きです。

アンテナコード

自在な動きができるように長さに余裕を持たせています。

警告

- ・ 傾斜面での設置はしない。移動時は転倒に注意すること。
- ・ アンテナや電源コードを持って移動しないこと。
- ・ アンテナコードや電源コードをアームに巻き付けたりしないこと。

側面

背面

コード巻

収納時などに電源コードを巻き付けてください。

注) 強く巻き付けるとコードが断線する恐れがありますので、あまり強く巻き付けないようにしてください。

アース端子

アースコードを接続してください。

取っ手

持ち上げるときは、本体背面に廻り、取っ手に手をかけて持ち上げます。

通気孔

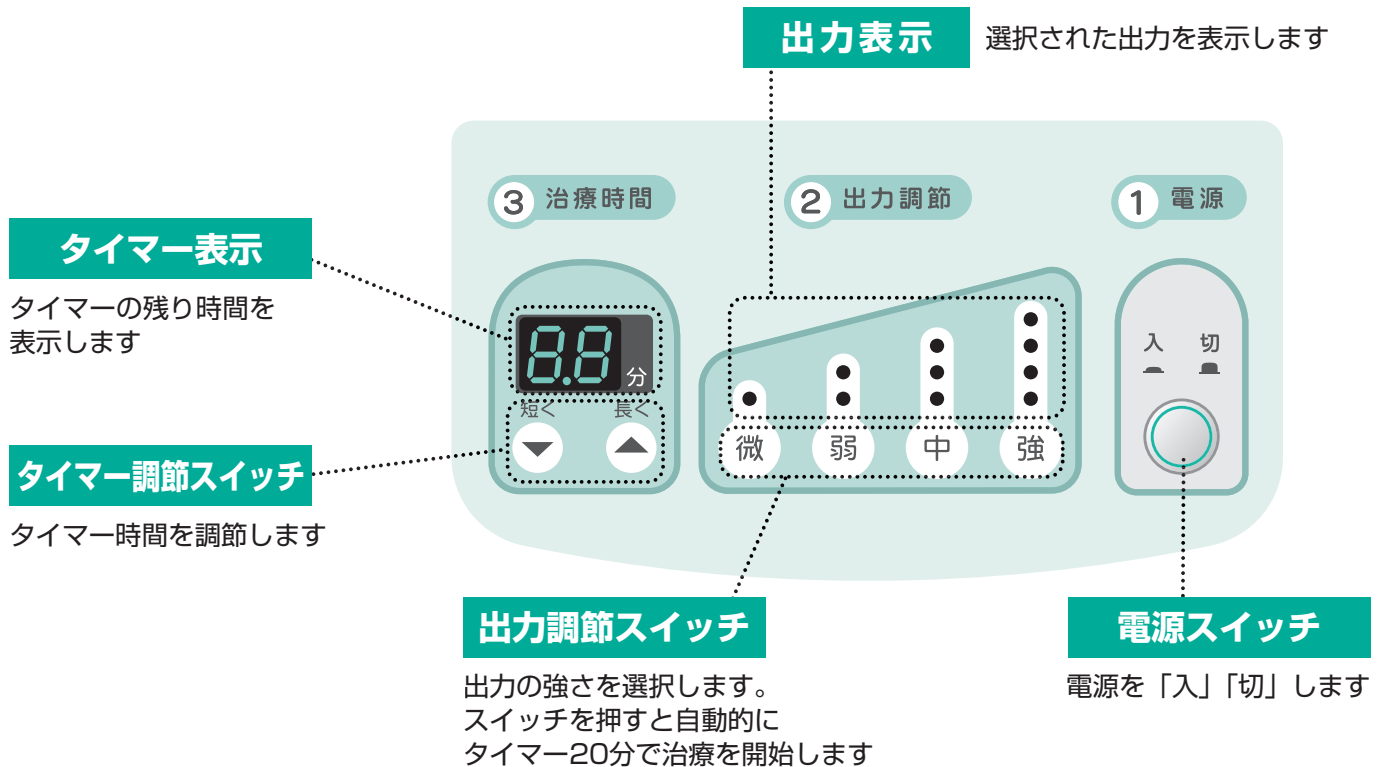
通気孔をふさがないこと。壁に寄せたり、布団をかぶせたりしないでください。また、通気孔につくほこりを定期的に掃除機などで吸い取ってください。

電源コード(プラグ)

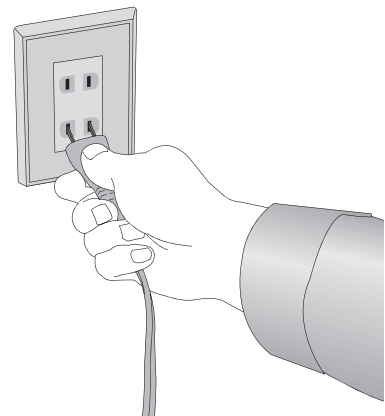
家庭用コンセント（100V）にプラグを差し込みます。使用しないときは必ずコンセントから抜いてください。

操作方法について

治療の操作手順

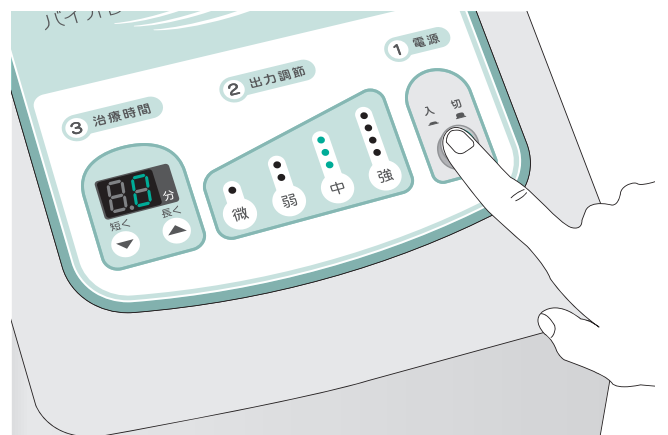


- 1** 電源スイッチが「切」になっていることを確認して、電源プラグをコンセントに差し込みます。



- 2** 電源スイッチを押し「入」にします。ピーッピーッピーッと4回音がしてタイマー表示「0」が表示されます。

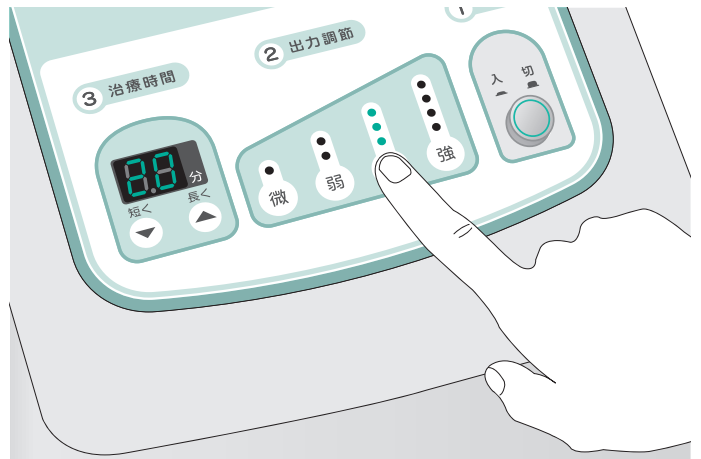
注) 電源スイッチを入れる際に他のボタンを操作しないようにしてください。誤作動をする場合があります。電源が入った後タイマー表示「0」が表示されなかった場合には、一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。



3 アンテナを治療部位にあてます。(治療例はP.14を参照してください)

4 出力調節スイッチを押し治療を開始します。自動的に20分のタイマーが作動します。

※出力「微」の使用時に照射アンテナが点灯しない場合がありますが故障ではありません。



5 治療時間を変更したい場合にはタイマー調節スイッチを押して調節してください。

長く



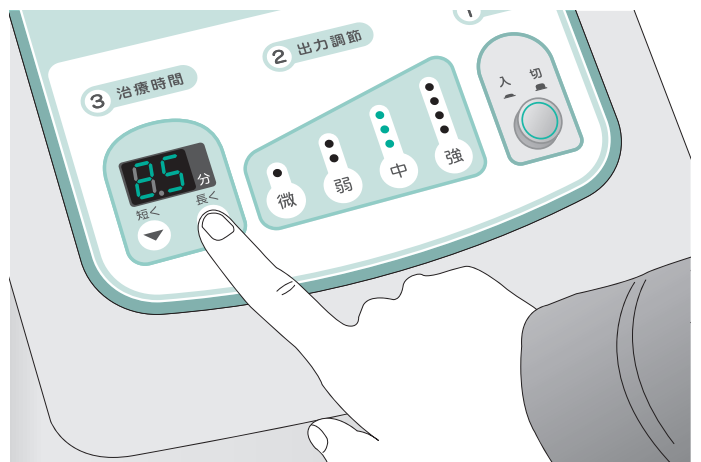
1回押すと5分長くなります。

短く



1回押すと5分短くなります。

※途中で治療を終了する場合には電源スイッチを「切」にするか、タイマー設定を0分にして、終了してください。



6 タイマーが0になるとピーッと音がして自動的に出力が終了します。治療が終了したら、電源スイッチを「切」にして、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

※使用中、出力調節スイッチやタイマー調節スイッチを押しても動作しなかった場合には、一度電源を入れ直してください。

電源を入れ直しても動作しない場合には販売店までお問い合わせください。

※電源スイッチが「入」になっている間は、熱を下げるためにファンの回転と停止をくり返しますが、故障ではありません。治療が終了したら、電源スイッチを「切」にして、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

操作方法について

基本的な使用例

※写真例はあて位置をわかりやすくするために肌に直接あてていますが、実際の使用の際には衣服またはタオルを間に挟み使用してください。

治療の 基本

- ◆出力は弱が原則。
- ◆時間は15～20分、1日1～3回。
- ◆照射面を身体（治療部位）になるべく近づけて照射してください。

肩

出力：弱

時間：15～20分

回数：1日1～3回



腰

出力：弱

時間：15～20分

回数：1日1～3回



膝

出力：弱

時間：15～20分

回数：1日1～3回



膝から下

出力：弱
時間：15～20分
回数：1日1～3回



足裏

出力：弱
時間：15～20分
回数：1日1～3回



※知覚障害のある人は必ず医師と相談してご使用ください。

せい部 (へそ)

出力：弱
時間：15～20分
回数：1日1～3回



腎部

出力：弱
時間：15～20分
回数：1日1～3回



脊髄

出力：微～弱
時間：15～20分
回数：1日1～3回



警告

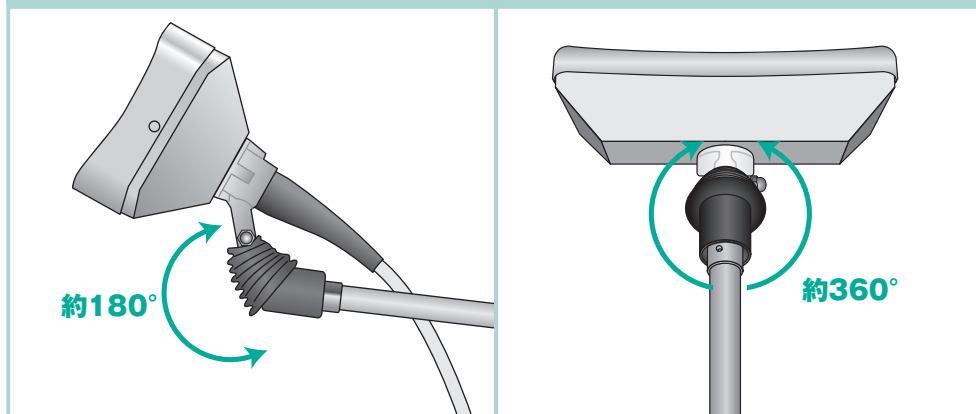
治療時の注意事項

- ◆顔面への照射はしないでください。また、照射アンテナをみつめないでください。
- ◆首、胸など身体の上部に照射する場合は、防護メガネをかけてください。
- ◆連続して15～30分使用した場合は5分以上休止してください。
- ◆導電性衣類を着用して治療しないでください。
- ◆使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は身体から外してください。
- ◆電床マットの上では使用しないでください。
- ◆温感が高いと感じたら出力を下げてください。
- ◆本器や身体に異常を感じたら直ちに使用を中止してください。

操作方法について

照射アンテナと自在アームの動きについて

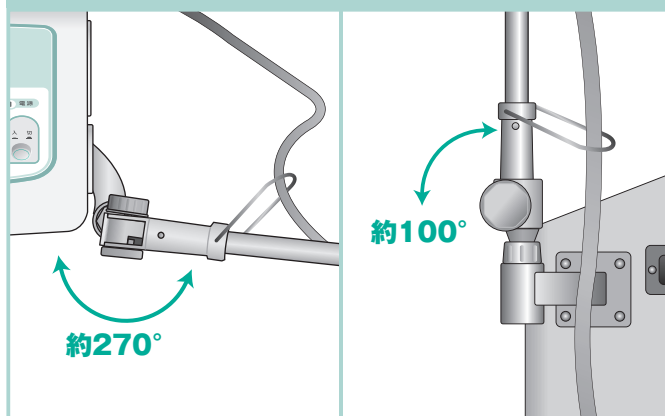
照射アンテナの可動範囲



約180度の範囲で上下します。

約360度、アンテナの向きが
変えられます。

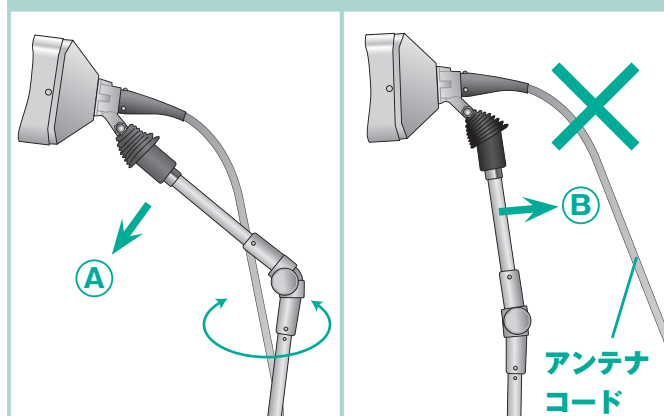
自在アームの可動範囲



(上から見た図)
水平方向に約270度
の範囲で回転します。

(横から見た図)
上下に約100度の
範囲で上下します。

自在アームを回すポイント

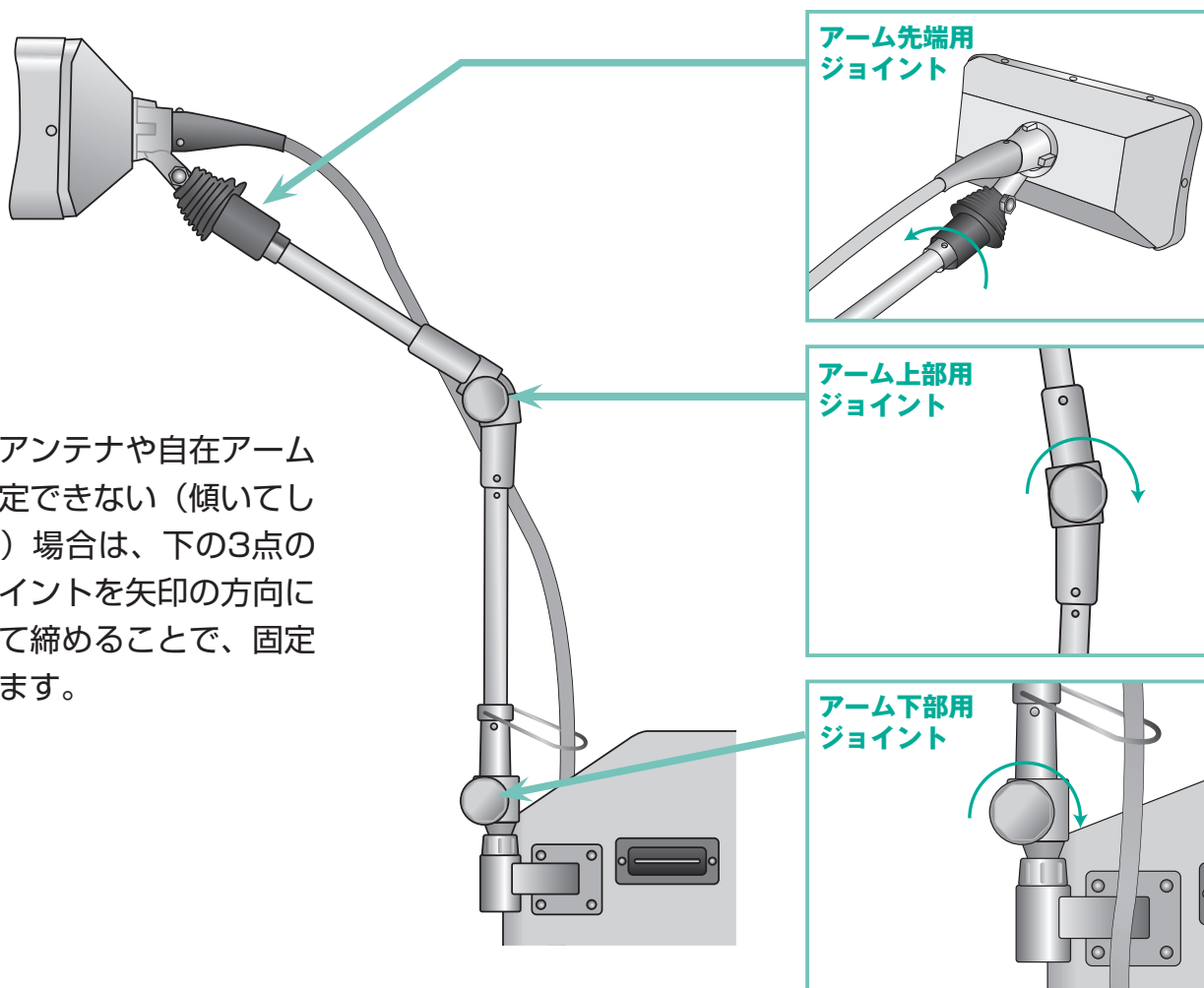


アームを **A** の方向に少し曲げると
スムーズに回転します。

警告

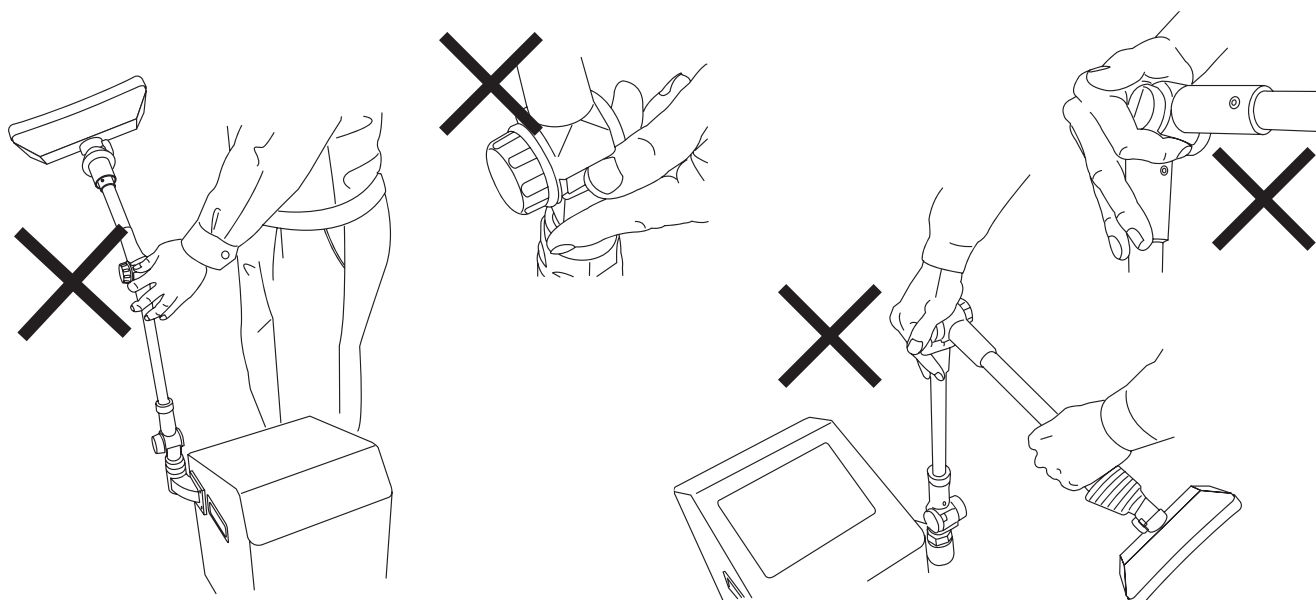
- ◆アンテナをアームから外さないでください。
- ◆範囲を超えて無理に回さないでください。
- ◆アームは人間の関節と同じように逆方向には曲がりません。**B** の方向に無理に力を加えるとアームが壊れます。
- ◆アンテナコードを持ってアームや本体を動かさないでください。
- ◆アンテナコードを絡ませたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。アンテナコードが傷ついたり、破損した状態で使用すると火災や感電、発火、断線などの事故や故障の原因となります。

照射アンテナや自在アームが固定できない（傾いてしまう）場合は、下の3点のジョイントを矢印の方向に回して締めることで、固定できます。



⚠ 注意 自在アームの取扱いについて

自在アームの関節部分を持ったまま、動かしたり操作しないようにしてください。関節の駆動部分に指を挟むなどの事故の原因となります。

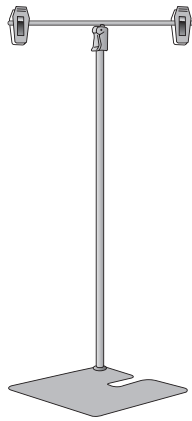


シールドカーテンの使い方

シールドカーテンの組み立て方法

準備するもの

カーテンスタンド



シールドカーテン

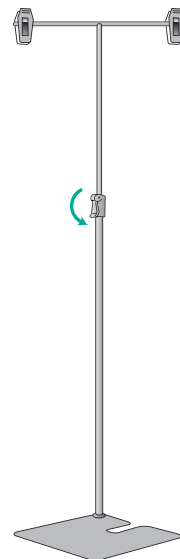


1 カーテンスタンドを伸ばします。

つまみを上げ、上まで引き上げます。

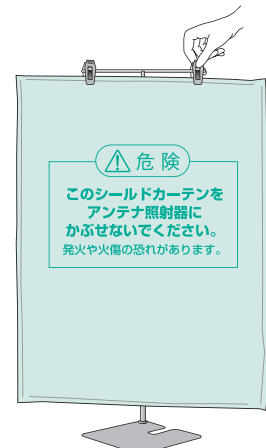
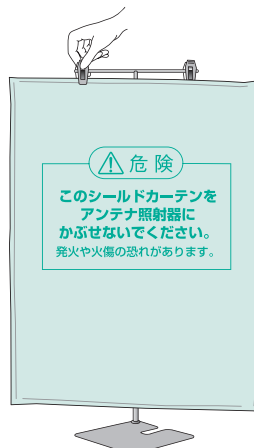


伸ばしたら、つまみを元の位置に戻し、ロックします。



2 シールドカーテンを取り付けます。

両端のクリップでシールドカーテンを固定します。

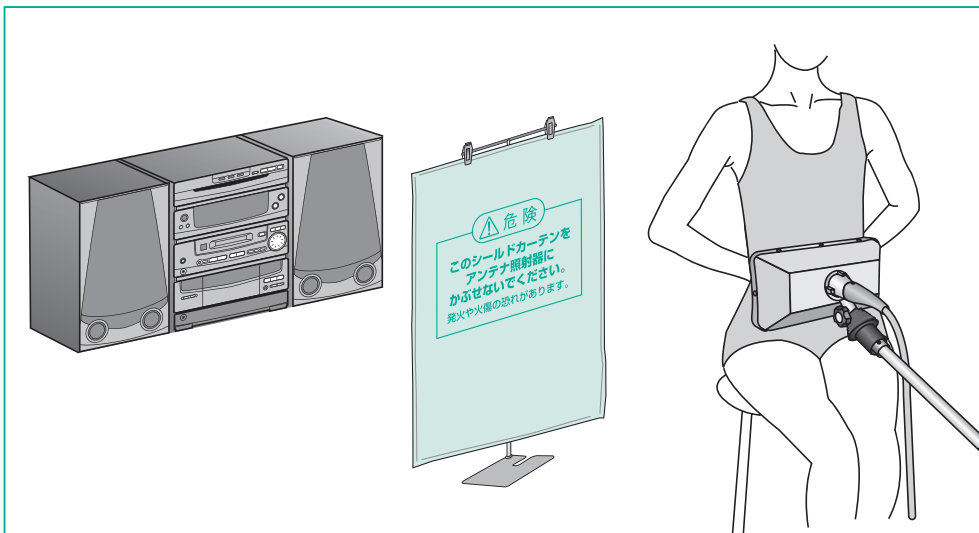
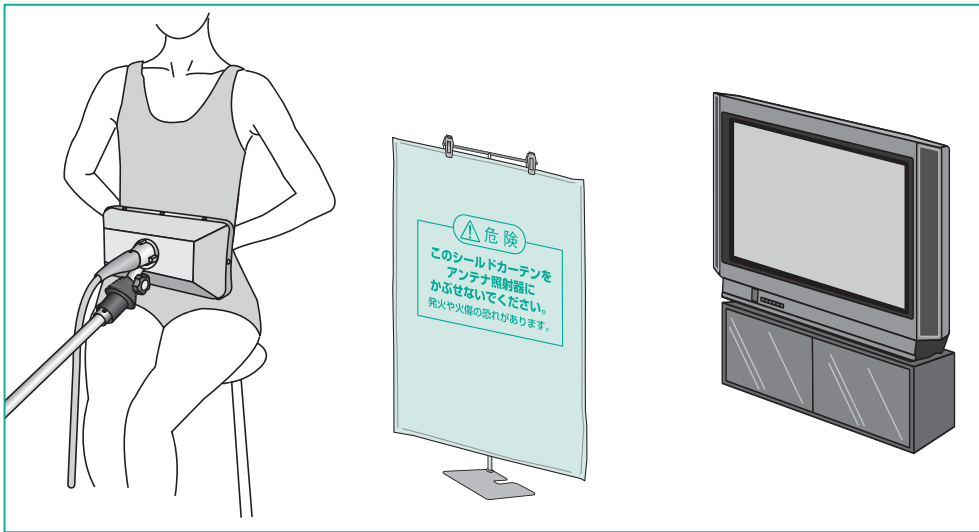


シールドカーテンの使用例

バイオレイヤーPを使用する際には必ずシールドカーテンを使用してください。

使用例

バイオレイヤーPをご使用される際には必ずテレビやステレオといった電気製品との間にシールドカーテンを使用してください。シールドカーテンは必ず印刷面を照射器に向けるようにしてください。



警告

シールドカーテンの注意事項

- ◆使用中のアンテナに接触させないでください。
- ◆暖房機器などの近くに設置や保管をしないでください。
- ◆温度や湿度の高い場所での使用や保管はしないでください。
- ◆水などをかけたりしないでください。
- ◆折りたたまずに軽く巻いて保管してください。

お 願 い

添付されている「ユーザー登録カード」を、必ずご返送ください。
到着次第、本製品の「保証書」をお送りいたします。

治療についてのご相談は…



伊藤超短波株式会社 お客様相談室

TEL.048 (254) 1030

受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

製造販売元  伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8 ☎048(256)7167